

当館の来館者数とホームページ閲覧件数について

木曾山林資料館

当館は平成26年(2014)5月に一般公開を始めて7年の歳月が経過した。4月から11月末までの毎週木曜日のみという限定した公開だが、大勢の方に来館していただいた。7年間の来館者数と平成27年(2015)6月より立ち上げたホームページの閲覧件数を合わせて報告する。

来館者数は、7年間の合計が1,201人、開館の初年は471人あったが徐々にその数を減らし、近年は100人前後で推移するが、ホームページ閲覧件数は一時期落ち込んだものの、現在は約7,300件で当初の2倍を超える(図1)。

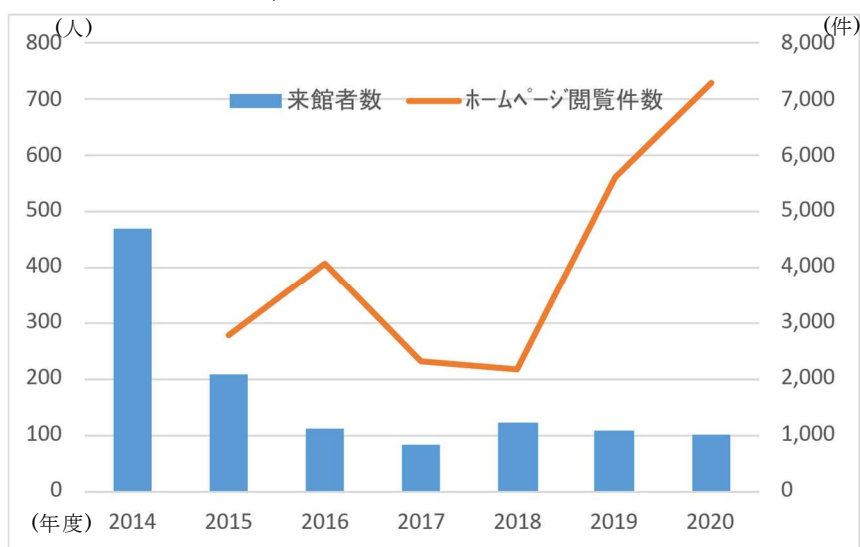


図1 来館者数とホームページ閲覧件数の推移

団体での見学者は毎年林業大学校の1年生が授業の一環として来館する他、青峰高校の森林環境科の「山を歩く会」の参加者が演習林を歩いた後で見学される。また、木曾山林高校の同級会の地元開催時に来館して、実習用具等を懐かしく見て回るなど、その目的はさまざまである。

行政関係では、林野庁・中部森林管理局・長野県庁の職員や県立歴史館・県立図書館の担当者、林学関係では森林総合研究所、鹿児島大学、筑波大学等の研究者が来館、また、森林鉄道愛好家や若い頃山仕事した者などが、ロコミやホームページを見て来館される例も多々あった。

平日の週1回、12月~3月の冬期休館及び中心地から離れている等の制約があり、来館者が増えないジレンマがある。ホームページを2019年に改訂してデジタルコンテンツを追加、またブログを始めたことで閲覧件数を増やすことができたと考える。

2021年度からの土曜日開館の実施、展示内容のリニューアル、企画展の開催等を検討し、ホームページで研究紀要の公開、林業史料の公開等、今以上にコンテンツの充実を図る必要があると考えている。